

氏名 中部 貴央

プロフィール

○勤務先

東京大学医学部附属病院 国立大学病院データベースセンター 副センター長

京都大学 大学院医学研究科 社会健康医学系専攻 医療経済学分野 客員研究員

○職務概要（資格や専門領域・スキル含む）

社会健康医学修士（専門職）、博士（社会健康医学）

専門領域：病院管理、医療経済、医事法

国立大学病院データベースセンターでは、全国国立大学病院の診療・研究・教育の質・管理運営の改善の向上のため、様々なデータの収集と集計分析を行う各種調査プロジェクトの管理を担っているほか、全国国立大学病院関連の会議体とも連携し、DPC データ等を用いた医療安全指標の計測や、各種調査結果を用いたデータ分析業務を担当する。

研究では、医療・介護の質に関連して、認知症介護におけるインフォーマルケア、医療施設・介護施設における組織文化、紛争解決・コンフリクトマネジメントを中心に、これまで取り組んでいる。

○これまでの実績

【学会活動】

若手会員の会 代表世話人 （2022年～）

【書籍/論文】

・ Classification tree model of the personal economic burden of dementia care by related factors of both people with dementia and caregivers in Japan: a cross-sectional online survey. *BMJ open* 9(7) e026733、2019年

・ The personal cost of dementia care in Japan: A comparative analysis of residence types. *International journal of geriatric psychiatry* 33(9):1243-1252、2018年

・ Measuring the quality of life of long-term care service users in Japan: a cross-sectional questionnaire study. *BMC geriatrics* 22(1) 955 2022年

・ 利用者から見た医療 ADR：医療紛争相談センター利用者インタビューから描く実情と課題. *立命館法学* 396:1-69、2021年

・ 医療 ADR(裁判外紛争解決)の活動と利用者調査：医療紛争相談センター(千葉)利用者に対するアンケート集計結果を中心に. *立命館法学* 391:1334-1370、2020年

・ 医療紛争解決における ADR と相談-利用者調査を手がかりに. *医事法研究*(4)89-105、2022年

ほか